

セミを調査してわかること

夏によく見られるセミは、日本で約30種が生息しており、乾いた環境を好むセミや緑が多い環境を好むセミなど、種によって生息場所が異なります。鳴き声や抜け殻からセミの種類を見分けることができ、どの種のセミがどの場所に生息するかを調べることで、京都市の自然環境が分かります。多くの種のセミが生息する場所は、様々な環境が広がっていると考えられます。



クマゼミ

大きさ 40~48mm

鳴き声 シャンシャンシャン

観察できる場所 市街地



クマゼミの抜け殻

大きさは33mm以上。
背中が丸まった形で足の付け根にでっぱりがある。



アブラゼミ

大きさ 36~38mm

鳴き声 ジリジリジリ

観察できる場所 市街地



アブラゼミの抜け殻

大きさは26~32mm。
背中が丸まった形で触角が太く、毛が多い。



ミンゼミ

大きさ 33~36mm

鳴き声 ミーンミンミン

観察できる場所 里地里山



ミンゼミの抜け殻

大きさは26~32mm。
背中が丸まった形で触角が細く、毛が少ない。



ツクボウシク

大きさ 29~31mm

鳴き声 オーシーツクツク

観察できる場所 里地里山



ツクボウシクの抜け殻

大きさは24mm以下。
まっすぐな形でツヤがなく、色は白っぽい。



ヒグラシ

大きさ ♂29-38mm

♀21-25mm

鳴き声 カナカナカナ

観察できる場所 里地里山



ヒグラシの抜け殻

大きさは24mm以下。
背中が丸まった形。



さなぎにならないセミ！

セミは、卵→(孵化)→幼虫→(羽化)→成虫と大きくなります。さなぎの時期がない昆虫として有名です。



- ・セミの鳴き声は **こちら** から聞けます (アクセス先: 兵庫県人と自然の博物館)
- ・セミの抜けがらの見分け方は **こちら** (アクセス先: 日本自然保護協会)
- ・セミの成虫の特徴は **こちら** (アクセス先: 仙台市科学館)